

## 平成30年司法試験 合格体験記

平成26年度修了（未修コース）宮田 梨彩

9期末修の宮田梨彩と申します。4回目の受験で司法試験に合格しました。

法科大学院修了後2年ほどは、法律事務所でアルバイトをし、その後、家庭裁判所で臨時職員として働き、今年4月からは市役所で正規職員として働きながら司法試験を受験していました。

私が大学院在学時から行っていたことは、「ゼミを組んで答案を書く」ことでした。インプットしたものを上手にアウトプット出来なければ合格出来ないと感じたからです。実際、試験の現場では時間に余裕がないので、答案を書き慣れておくことは重要であったと思います。

ゼミを組んで答案を書く利点は、自分以外の人の答案の書き方や表現を参考に出来るという点と、仲間と切磋琢磨し合えるので、モチベーションを維持しやすいという点にありました。岡山大学法科大学院は比較的同期の人数が少ないので、同期の繋がりが強く、ゼミを組んだり、一緒に勉強したりする仲間を見つけやすい環境であったと思います。

また、ゼミで書いた答案は先生方に添削・指導してもらうようにしていました。岡山大学法科大学院では、先生方との距離も近いので、こちらからアクションを起こしさえすれば、先生方は熱心・丁寧に答案の添削・指導をしてくださります。

今回はあまり勉強時間を確保することが出来ないまま臨んだ受験ではありましたが、試験直前期には、ゼミで得た知識をまとめた定義集などを一通り読むようにしていました。限られた勉強時間でこうして合格することが出来たのは、これまで一緒に切磋琢磨してくれた仲間の存在と、熱心に指導してくれた先生方の存在があったからだと思います。岡山大学法科大学院には、司法試験に合格できる環境が整っています。在学生の皆様には、今ある環境を存分に活用していただきたいと思います。

最後になりましたが、在学中及び修了後にご指導くださった先生方、学習環境を整えてくださった職員の皆様、支えてくださった関係者の皆様に心より御礼申し上げます。